VIEWTEC

2 チャンネル
モバイルビデオレコーダー
取扱説明書

2013 SEP V1.0

免責事項

本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切の責任を負いません。

本機は映像を常時記録する装置ですが、すべての状況において映像の質や記録の保存性を保証するものではありません。

本機で録画した映像は個人のプライバシーなどの権利を侵害する場合もありますが、弊社では一切の責任を負いません。

この取扱説明書は、販売時点での情報を基にしています。ハードウェア・ソフトウェアともに常に改良されるため、ここで描かれる画像やスクリーンショットは、実際のものとは異なって見える場合があります。本機は改良等のため予告なく仕様変更する場合があります。

不適切な設置や使用は、感電や出火などの危険を伴うことがあります。設置者及び使用者は、この説明書をよく読んでください。

不注意による過失、不適切な設置や使用、または移動中の事故による損失等について、弊社は責任を負わないこととします。

LED式信号機は高速で点滅しているため、本機で撮影すると点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生した損害については弊社は一切の責任を負いません。

GPSアンテナはオプションです。GPSの性能は、機器の影響範囲にはない外部要因により異なります。その要因とは、天気、衛星信号強度、GPSアンテナの設置位置、その他の予測不能な要因を含みます。車両速度はGPSの情報により入手しています。実際の車両速度とは異なる場合があります。また、トンネルなどGPS電波を受信できないところでは、車両速度を表示できない場合があります。

LCDのドット抜けについて、弊社は責任を負わないこととします。

この取扱説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

注意

この説明書には、機器を車両に設置するための概要が記載されています。ただし、実際の電気配線は車両により異なるため、設置者及び使用者は、車両メーカーに安全面でのアドバイスを受けてください。

製品の設置に関しては、専門技術者のアドバイスを受けてください。

本機の全てのメニュー設定操作は、車両を安全なところへ停め、安全を確認した上で行ってください。

目次

A. 特長 4
B. 安全にお使いいただくために 5
C. 仕様 9
D. 製品概要 10
E. リモコン 11
F. ケーブル 12
G. 車両への設置 13
H. SDカードをフォーマットする 14
I. 本機の設定をする 16
J. SDカードの挿入 19
K. 録画 20
L. GPS 21
M. ライブディスプレイ 22
N. パソコンで再生ソフトを使用する 24
O. ファイルのバックアップ 26
P. 映像再生 28
Q. スナップショット 29
R. プレイヤー言語設定 30

A. 特長

- 二輪や軽車両に使用可能です。
- 耐久性のある、アルミ鋳造です。
- 最大2チャンネルのビデオカメラを入力できます。映像と音声を同時に記録できます（外部マイク使用）。
- 3インチTFT LCD画面内蔵です。
- 高度なMPEG4/AVC（H.264）圧縮機能により、ファイルサイズを極小にできます。
- 加速度センサー感度は、道路状況や車両タイプにより調整可能です。衝撃を検知すると、自動的に緊急録画を開始します。
- 緊急録画では、前後1～3分を含めて保存し、完全な記録とします。その記録は、続けて録画しても上書きされることはありません。
- エンジンをかけると自動的に録画を開始します。
- オプションのGPSアンテナが設置されている場合は、Googleマップの手助けにより、録画されたルートがビデオ再生中に表示されます。

B. 安全にお使いいただくために

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使用しています。
その表示と意味は、次のようになっています。
取扱説明書をお読みになり、内容をよく理解のうえ正しくお使いください。

警告

この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、障害を負ったり、物的損害が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
	一般的な禁止行為を告げるものです。
	分解の禁止を告げるものです。
	警告・注意を告げるものです。

警告

	DC12Vマイナスアース車で使用すること。 プラスアース車で使用すると、本機内部がショートし、火災や感電の原因となります。
	本機を運転や視界の妨げになる位置には取り付けない。 エアーバッグなど安全装置の妨げになる位置や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル付近など、運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。
	万一、異物が入った、製品内部に水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなどの異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ず、お買上げの販売店に相談する。 そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
	本機を分解・改造しない。 事故や火災、感電の原因となります。
	正しく配線する。 正しく配線しないと発火や事故の原因となります。特にリード線などがねじやシートレールなどの可動部にかみ込まないよう配線してください。またステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付かないよう固定してください。
	配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルをはずす。 ケーブルをはずさないと、ショートによる感電や怪我の原因となります。
	接続ケーブル類の配線は、高熱部を避ける。 排気管やエンジンの付近に配線すると、高熱のためケーブル被覆が溶けてショートや断線の危険があり、発火や故障の原因となります。
	電源コードやその他コードは、運転の障害とならないように配線する。 ･ブレーキや、アクセルなど可動部分の近くに配線しないでください。 ･配線が手や足にさわらないように注意してください。
	運転者は走行中に本機を操作しない。 必ず安全な場所に車を停車させてから操作してください。交通事故の原因となります。
	SDカードスロット、USBポートに異物を入れない。 火災や感電の原因となります。

⚠注意

⚠	**本機を落下させたり、衝撃を加えたりしない。** 衝撃を加えると故障や火災発生の原因となることがあります。
❗	**取り付け場所の汚れやワックスをきれいに拭き取る。** 走行時の振動で機器がはずれて運転の妨げとなり、交通事故や怪我の原因となることがあります。
❗	**必ず付属の部品を指定通りに使用する。** 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を傷めたり、確実に固定できずにはずれたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
❗	**接続終了後は、ケーブル類をクランプや絶縁テープなどで固定する。** ケーブルがゆるむと、車体部分との接触によりケーブル類の外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 本機は防滴仕様ですが、水没や水圧によっては水が侵入する可能性があります。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信器を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- GPSアンテナはオプションです。GPSアンテナの設置場所によってはGPS電波が受信しにくくなる場合があります。
- SDカードは付属しておりません。別途お買い求めください。
- SDカードは指定した方向へ正しく挿入してください。
- 本機の中からSDカードを取り出すときは、必ず本機の電源を切った状態で取り出してください。SDカードに記録された映像が消失する場合や、SDカードが破損する場合があります。
- 付属ヴューワーソフトをご利用の場合は、お使いのパソコンにDirect X version 9.0 以上がインストールされている必要があります。
- 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 製品には保証書が付いております。お買い上げの際には、お買い上げ年月日、販売店名の記入をご確認の上、必ずお受け取りになり大切に保管してください。

C. 仕様

項目	内容
映像入力	2 チャンネル
フレームサイズ	NTSC：30 fps（D1）
供給電源	DC12V、250mA
動作温度範囲	-15℃～50℃
記憶デバイス	SDカード：Class 10 以上、最小 4GB　最大 32GB（SanDisk・Transcend推奨）
録画	電源を入れると自動的に連続録画を開始します。
記録内容	日付、時刻、映像、音声、加速度、GPSデータ（速度含む）* *GPSアンテナが設置されている場合のみ
再生	プレイヤーソフト（パソコン上）、リモコン（本機より直接）
音声入力	外部マイク（別売）
時刻設定	GPS信号による自動設定。GPSが無効の場合、内蔵時計を使用。
加速度センサー	内蔵

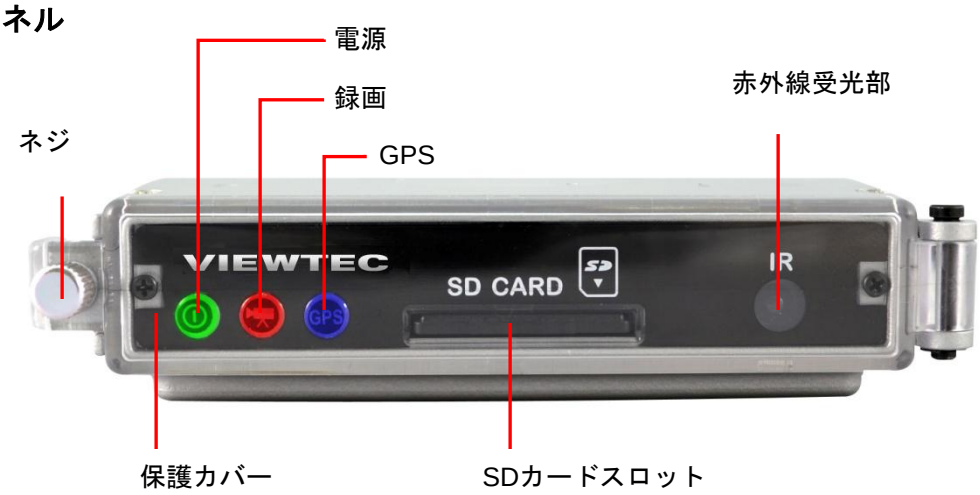
本体付属品

1) 標準：
   a. 2.5 M電源ケーブル
   b. SDカードリーダー
   c. リモコン
   d. CD-ROM（ヴューワーソフト、取扱説明書）
   e. クイックユーザーガイド
   f. ベルクロテープ

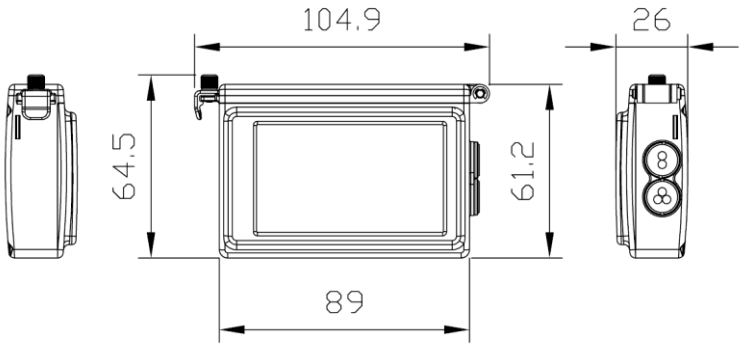
2) オプション：
   a. SDカード：Class 10 以上、最小 4GB　最大 32GB
   b. 外部GPSアンテナ
   c. マイク（非防水性、適切な位置に設置すること）
   d. 広角カメラ（正像用・鏡像用）

D. 製品概要

パネル



寸法（mm）



E. リモコン

アイコン	機能	内容
Mode	画面切換	チャンネル 1 / チャンネル 2 / 分割画面の切換
Playback	録画リスト	録画リストを開く
	手動録画	緊急録画時、キー押下の前後 1～3 分を保存する
F+	ファンクション＋	画面を明るくする
F−	ファンクション－	画面を暗くする
	音声録音オン / オフ	音声録音をオン / オフする

F. ケーブル

ケーブル

(1) 電源コネクター

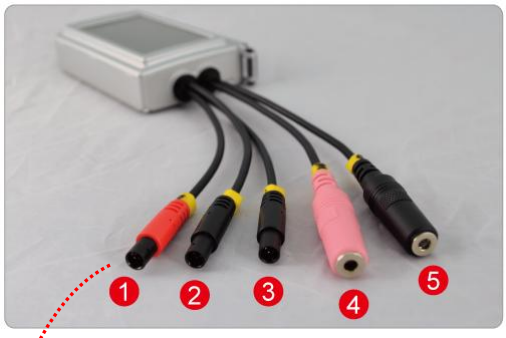
(2) チャンネル 1　映像入力*

(3) チャンネル 2　映像入力*

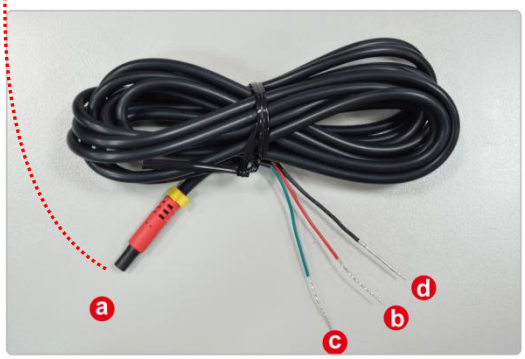
(4) 外部マイク入力

(5) 外部GPSアンテナ入力

*専用カメラを使用してください。



電源ケーブル



(a)　電源コネクター：　上記(1)へ接続します。

(b)　電源（＋）（赤）：　ACC電源またはエンジンスターター等の電源（＋）に接続します。

(c)　電源（－）（緑）：　電源（－）に接続します。

(d)　アースライン（黒）：　車両アースに接続します。

G. 車両への設置

警告

(1) 車両へのダメージを避けるため、専門技術者のアドバイスに従って設置してください。

(2) 安全のため、設置前にはエンジンを切り、ガソリンパイプやタンクから離して設置してください。

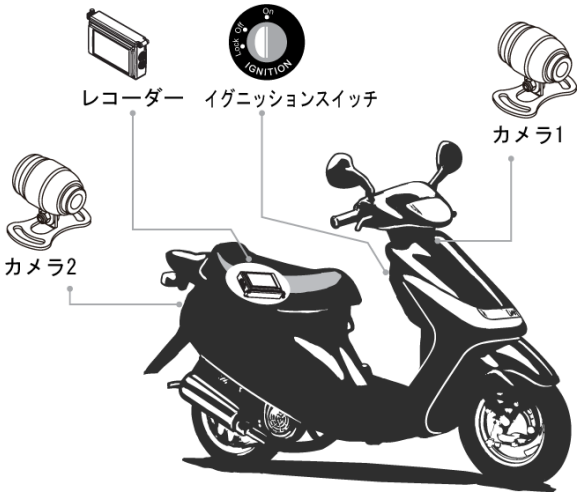
(3) ワイヤーを穴に通す前に、ほこりやゴミによる接続不良を避けるため、一時的に端子をテープで巻いてください。

(4) 接続がゆるんだり漏電したりすることを避けるため、すべての電気的接続部分をテープでしっかりと巻いてください。

(5) バッテリーの消耗を防ぐため、直接バッテリーに接続しないでください。イグニッションスイッチをオンに入れると給電する回路に接続してください。

(6) 機器は車両に固定してください。トランクの中で跳ね返ったりすると、機器に損傷を与えたり、録画ファイルや録画中ファイルが損傷・消失したりする場合があります。

設置例



H. SDカードをフォーマットする

重要

SDカードをフォーマット・リストアすると、SDカード内のすべてのデータが削除されます。

SDカードをフォーマットする

新規購入したSDカードを使用する前に、または使用済みのSDカードを再利用する前に、フォーマットする必要があります。

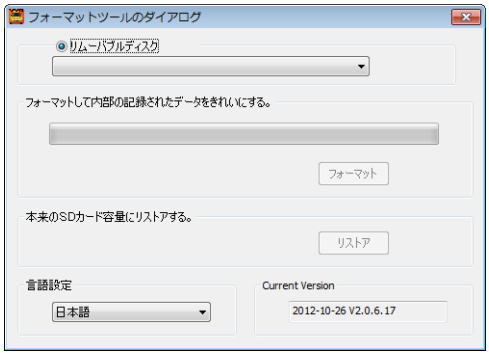
SDカードをリストアする

SDカードを他のデバイス（パソコンやデジタルカメラなど）で再利用する場合は、SDカードをリストアする必要があります。すべての録画データはSDカードから削除されます。

フォーマット / リストア

SDカードをフォーマット / リストアするには：

(1) SDカードを付属のUSBリーダーに挿入します。
(2) USBリーダーを、パソコンのUSBポートに接続します。
(3) 同梱CDから、再生ソフトを起動します。
(4) を選択し、ディスクフォーマットウィンドウを開きます。



(5) SDカードを選択します。

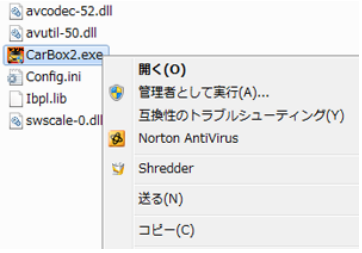
(6) 「フォーマット」または「リストア」ボタンを選択します。

トラブルシューティング

(1) フォーマットまたはリストアする前に、SDカードがロックされていないことを確認してください。

ロックされていない　ロックされている

(2) それでもなおフォーマットまたはリストアできない場合は、再生ソフトを閉じ、管理者権限でプレイヤーを再度開きます。



(3) それでもなおフォーマットまたはリストアできない場合は、Windowsをログオフし、管理者権限で再度ログオンします。

I. 本機の設定をする

SDカードを本機に挿入する前に、SDカードのフォーマットを行ってください。SDカードのフォーマットに関しては、「SDカードをフォーマットする」（14 ページ）を参照してください。

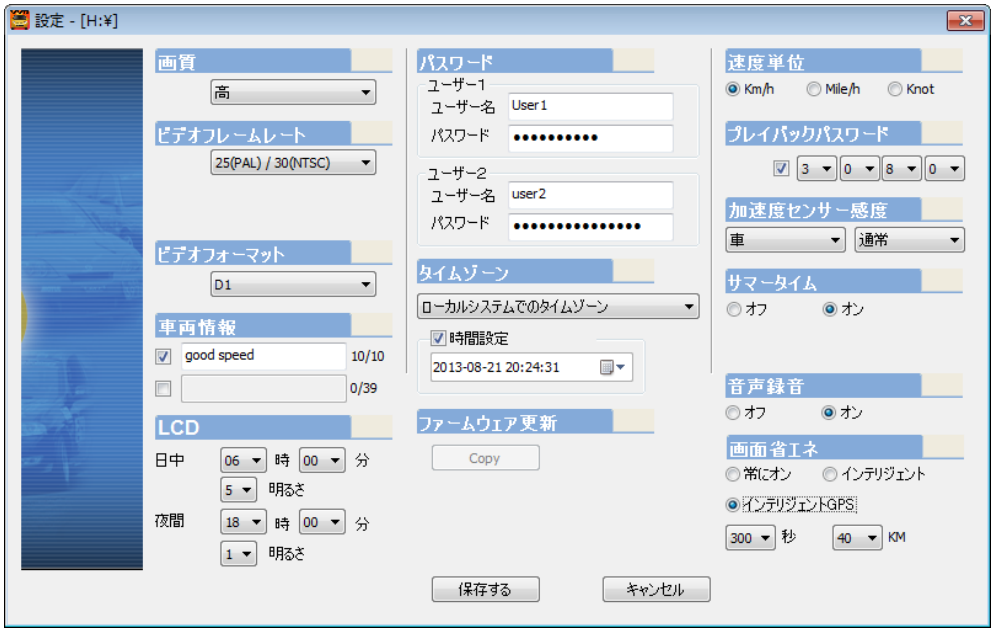
本機を設定するには：

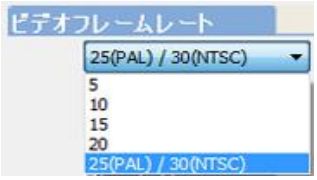
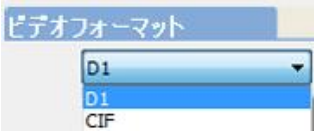
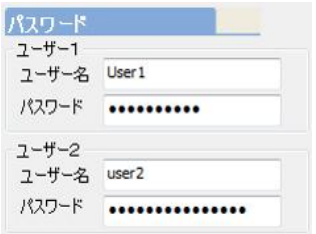
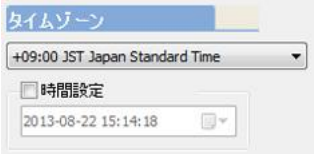
(1) SDカードを付属のUSBリーダーに挿入します。

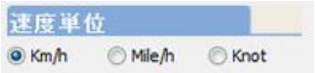
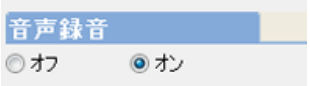
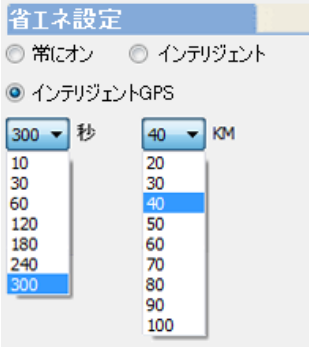
(2) USBリーダーを、パソコンのUSBポートに接続します。

(3) 再生ソフトを起動します。（付属CD-ROMに入っています。）

(4) を選択し、設定ウィンドウを開きます。



映像品質		映像品質を選択します：高/通常/低
映像フレームレート		毎秒のフレーム数を設定します。 NTSC：5、10、15、20、30 PAL：5、10、15、20、25
映像形式		フレームサイズを設定します。 D1　720×480（NTSC） 　　720×288（PAL） CIF　360×240（NTSC） 　　360×288（PAL）
車両情報		機器を複数の車両で使用する場合にSDカードを特定しやすいように、ドライバー名やナンバープレートなどの情報を入力します。
LCD		日中および夜間それぞれでLCD画面の明るさを設定します。また、明るさが切り換わる時間を指定することができます。
パスワード		データを暗号化し、不正なアクセスを防ぎます。最大文字数：パスワードは最大 15 文字です。 注：パスワードは、大文字小文字を区別します。パスワードを常に安全な場所に保管してください。 パスワードを設定すると、（映像再生、設定、フォーマットなど）ディスクにアクセスする際にパスワードを入力する必要があります。
タイムゾーン		タイムゾーンを設定します。

速度の単位		速度の単位を設定します。 Km/h：キロメートル毎時 Mile/h：マイル毎時 Knot：ノット毎時
加速度センサー感度		緊急録画を起動する、加速度センサーのしきい値を設定します。 5 つのレベルが有効です：オフ、軽度、低、通常、高、重度
サマータイム		サマータイムをオン/オフします。オンの場合、LCDのタイムスタンプの後に「DST」が表示されます。
音声録音		音声録音をオン / オフする。 注：マイクを接続している場合に有効です。
省エネ設定		省エネのため画面をオフにするタイミングを設定します。 常にオン： 画面をオフにしません。 インテリジェント： 一定時間操作がない場合、画面をオフにします。 インテリジェントGPS： 車両が一定の速度で一定時間走った場合、画面をオフにします。 注：リモコンで任意のボタンを押すと、画面がオンになります。一定時間操作がない場合、再度画面がオフになります。 注：インテリジェントGPSは、GPSアンテナが接続されている場合のみ有効です。

J. SDカードの挿入

重要

SDカードが再生ソフトでフォーマットされていない場合は、挿入後に全てのデータが自動的に消去され、録画が開始されます。
フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

SDカードをレコーダーに挿入します。

(1) 反時計回りにネジをゆるめ、保護カバーを開いてSDカードを挿入または取りはずします。

(2) カバーをしっかりと閉じます。

注意

(1) SanDiskまたはTranscendのSDカード推奨です。（Class 10 以上、最小 4GB 最大 32GB）
(2) 録画中のダメージを避けるため、SD変換アダプターは使用しないでください。使用すると、衝撃や振動により接続不良を起こす場合があります。
(3) SDカードには寿命があります。定期的に映像を再生して、正しく動作することを確認してください。

K. 録画

録画には 2 つのモードがあります。

連続モード　電源を入れると、自動的に連続録画を開始します。電源を切るまで録画を継続します。

緊急モード　緊急時に、その前後 1～3 分を含めて保存します。その記録は、続けて録画しても上書きされることはありません。緊急録画は、手動で、または加速度センサーにより起動します。

連続録画では、録画インジケーター（赤）が通常のスピードで点滅します。緊急録画では、録画インジケーターが速いスピードで点滅します。

連続録画

電源を入れると、LCDにスプラッシュスクリーンと、ファームウェアのバージョンが表示されます。

起動するには、約 1 分かかります。起動中、電源インジケーター（緑）が点滅します。その後、録画インジケーター（赤）が点滅します。録画中であることを示します。

手動録画

手動にて録画を開始するには、リモコンの ボタンを押します。録画インジケーター（赤）が速いスピードで点滅します。緊急録画中であることを示します。

加速度センサー録画

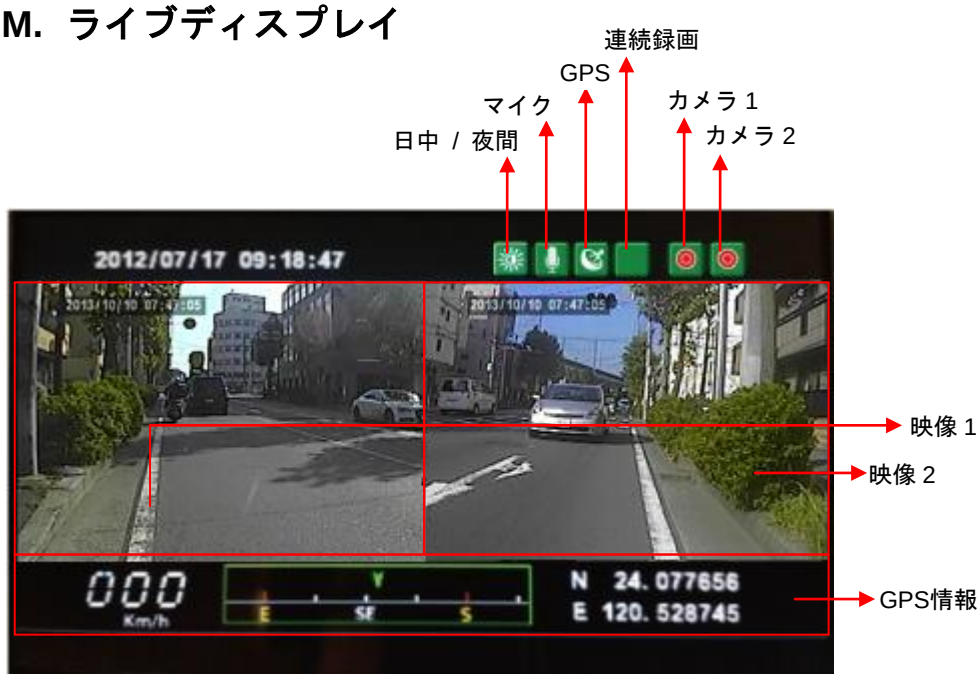
内蔵加速度センサーが異常な衝撃を検知すると、自動的に緊急録画に切り換わります。加速度センサー感度を設定するには、「本機の設定をする」（16 ページ）を参照してください。

L. GPS

GPSインジケーター（青）が点滅すると、システムがGPS信号を探しているかまたは位置を計算していることを示しています。GPSインジケーターが点灯すると、GPS位置測定が可能ということを示しています。

注：いつ位置を決定するかは、GPS受光部や天気、衛星信号強度などの外部要因により異なります。

M. ライブディスプレイ



(1) 画面右上に が表示されると、チャンネル 1（左）とチャンネル 2（右）の両方で映像信号を受けていることを示しています。 アイコンは、そのチャンネルは映像信号を受けていないことを示しています。

注：映像信号がない場合でも、（電源があり、SDカードが正常な限り）そのチャンネルは録画されています。チャンネル画面は、青い背景になっています。

(2) 緊急モード：アイコンは、連続（通常）録画を示しています。 アイコンは、手動録画を示しています。 アイコンは、加速度センサーにより緊急録画が開始されたことを示しています。「録画」（20 ページ）を参照してください。

(3) リモコンの Mode を押すと、CH1 フルスクリーン、CH2 フルスクリーン、そして 2 分割画面を切り換えることができます。（下記参照）

CH1 フルスクリーン

CH2 フルスクリーン

2 分割画面

(4) ライブディスプレイでリモコンの Menu を押すと、ファームウェアのバージョンを表示します。

Firmware Version: 2001

(5) ライブディスプレイでリモコンの を押すと、音声録音をオフにします。（ が表示されます。） アイコンは、音声録音がオンであることを示しています。

(6) アイコンは、位置の測定中かまたは衛星信号がないことを示しています。 アイコンは、GPSが利用可能ということを示しています。

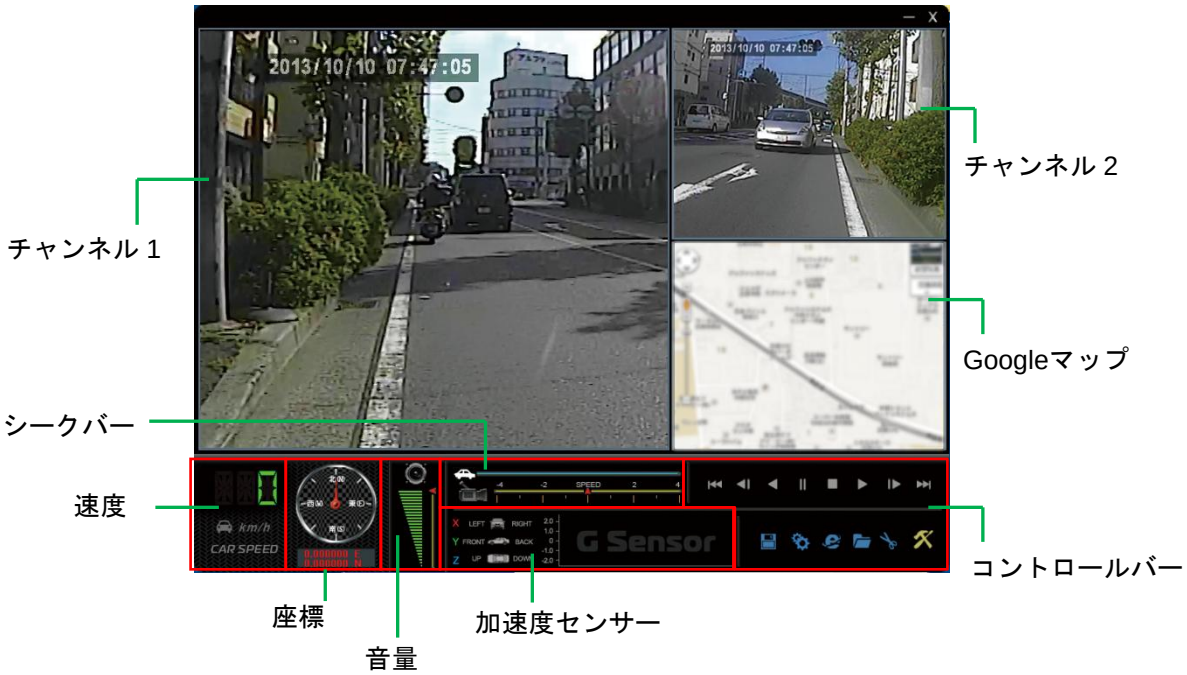
(7) アイコンは日中モードを示し、 は夜間モードを示します。

(8) LCDの明るさ：リモコンの F+ または F− を押すと、画面の明るさを調整できます。以下のように表示されます。

N. パソコンで再生ソフトを使用する

再生ソフトを起動します。（付属CD-ROMに入っています。）

注：Direct Xバージョン9.0以上が必要です。



注：GPS座標、速度、マップデータは、GPSアンテナが本機に接続されている場合のみ有効です。

映像/ファイルを再生する

シークバー	シークバー上でクリック、または車のアイコンをドラッグすることで映像を検索できます。
再生スピード	再生スピードを変更します。（2 倍速、4 倍速、標準、1/2 倍速、1/4 倍速）

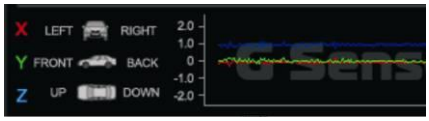
加速度センサー

内蔵加速度センサーにより記録された車両の振動を表示します。

X　左右の動き

Y　前後の動き

Z　上下の動き



コントロールバー

前のファイルへ戻る

前のコマへ戻る

逆再生

一時停止

停止

再生

次のコマへ進む

次のファイルへ進む

ファイルを保存

設定

別ウィンドウでGoogleマップを表示

フォルダを開く、再生するファイルを選択する

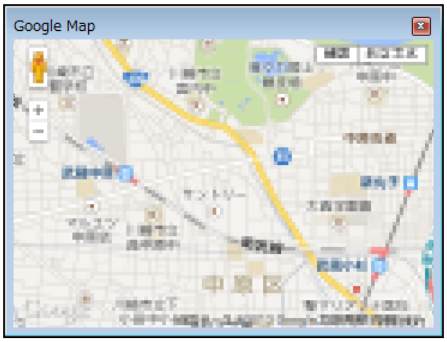
スナップショット

フォーマット / リストアと言語設定

Googleマップ

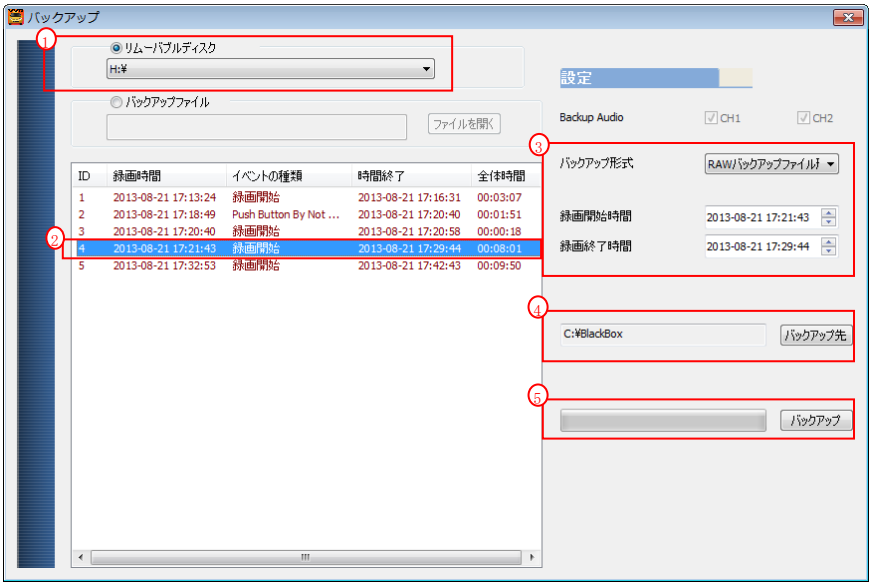
GPSデータが有効である（GPSアンテナが録画時に接続されている）場合は、Googleマップを使用して、車両のルートが表示されます。

別ウィンドウでGoogleマップを表示するには、を選択します。



O. ファイルのバックアップ

再生ソフトでを選択すると、以下のウィンドウが開きます。



映像をバックアップするには：

(1) SDカードのパスを選択します。

(2) バックアップしたい動画を選択します。

ID	録画時間	イベントの種類	時間終了	全体時間
1	2013-08-21 17:13:24	録画開始	2013-08-21 17:16:31	00:03:07
2	2013-08-21 17:18:49	Push Button By Not ...	2013-08-21 17:20:40	00:01:51
3	2013-08-21 17:20:40	録画開始	2013-08-21 17:20:58	00:00:18
4	2013-08-21 17:21:43	録画開始	2013-08-21 17:29:44	00:08:01

(3) バックアップのフォーマットを選択します。

(a) RAWファイル（*.sd）

すべての動画情報（映像、音声、GPSデータ）をバックアップします。ファイルを開くには、この再生ソフトが必要です。

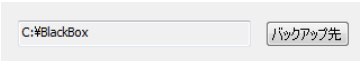
2013-08-21-20-02-57.sd SD ファイル 160 MB	

(b) AVIファイル（*.avi）

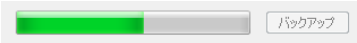
他のメディアプレイヤーが開ける形式で映像と音声をバックアップします。GPSデータは削除されます。

2013-08-21-20-06-04-CHN01.avi 00:08:00	chn01：チャンネル 1 の動画
2013-08-21-20-06-04-CHN02.avi 00:08:00	chn02：チャンネル 2 の動画

(4) ファイルの保存フォルダを選択します。



(5) 「バックアップ」を開始します。

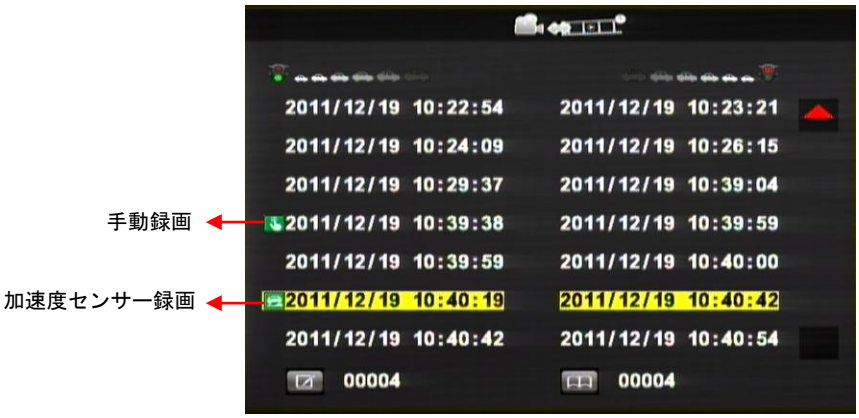


P. 映像再生

内蔵画面またはパソコンで録画映像を再生できます。

内蔵画面での再生

リモコンの Playback または ▶ ボタンを押すと、録画リストに切り換わります。（下記参照）。連続録画は停止します。



(1) ▲ または ▼ ボタンを押し、リスト内で動画を選択します。

(2) ◀ または ▶ ボタンを押し、前または次のページを選択します。

(3) お好みの動画を選択した後、↩ を押して映像を再生します。

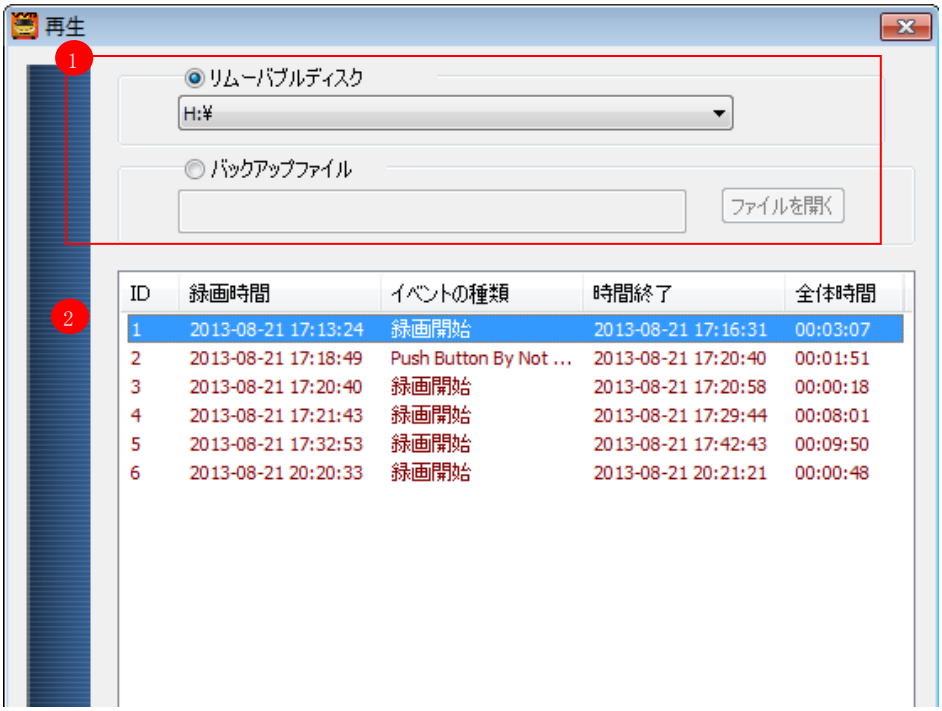
(4) 一時停止するには、⏸ を押します。再生を再開するには、▶ を押します。

(5) 再生を停止して録画リストに戻るには、■ を押します。

(6) 再生を停止してライブディスプレイに戻るには、再度 ■ を押します。

パソコンで再生する

再生ソフトで を選択すると、以下のウィンドウが開きます。



(1) SDカードのパスか、ハードディスク上のバックアップファイルを選択します。

(2) お好みの動画をダブルクリックし、ファイルを再生します。

Q. スナップショット

再生ソフトで動画を再生中、 を選択して、現在のコマのスナップショットを撮ることができます。*.bmpの形式でファイルを保存し、保存フォルダを開きます。

R. プレイヤー言語設定

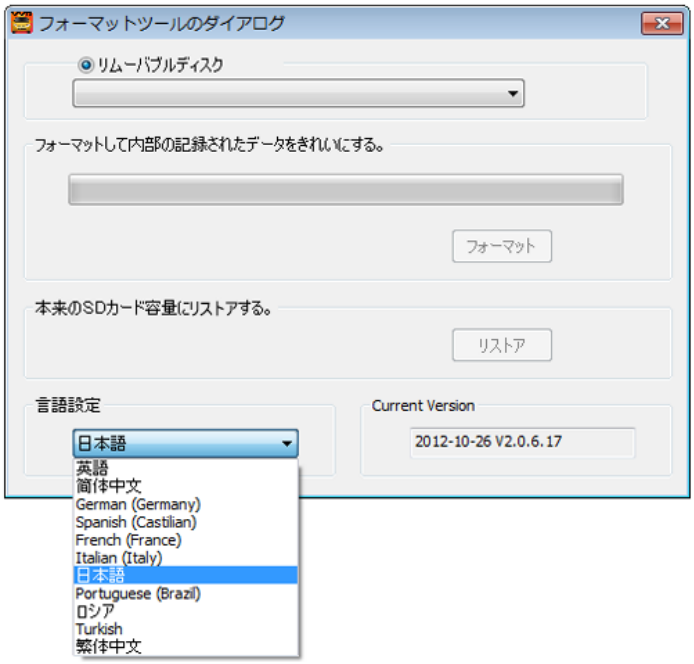
再生ソフトでは、複数の言語がサポートされています。（販売時点で 11 言語）

再生ソフトのUI言語を変更するには：

(1) 再生ソフトを起動します。（付属CD-ROMに入っています。）

(2) を選択し、ツールウィンドウを開きます。

(3) 言語を選択し、ウィンドウを閉じます。



(4) 変更を有効にするには、プレイヤーを閉じ、再度開きます。

株式会社　日本ヴューテック

〒 211-0066　神奈川県川崎市中原区今井西町 93-3

TEL（044）722-2211

© 2013 Japan Viewtec Inc.

VF-DVR-002